

(3)〔今後の課題〕

本市水道事業の今後の課題としては、

経営面においては、下水道水洗化の推進による有収水量の向上、未収金対策の強化を図り、料金収益を確保するとともに、施設の包括的な管理委託等を検討しコスト削減を図る必要があります。また、簡易水道事業、飲料水供給施設の経営も含めた上水道事業への統合検討が必要とされます。

施設の面においては、水源を河川の表流水としている施設にあっては、濁度・色度等の季節、日変動が大きく水質維持が困難な状況を踏まえ処理方式などの検討が今後必要となります。また、水源を湧水、伏流水に依存している地区では、近年の気温上昇による集中豪雨や積雪量の変化など、水源に及ぼす影響が懸念され今後の水源確保が課題となっています。

老朽化が進んでいる配水管の更新や配水池の更新と施設の統廃合を検討し、効率化を図る必要があります。

あわせて、災害にも強い浄水場、配水池、配水管などの耐震化や配水管路網のブロック化、ループ化により、安定的に飲料水の供給ができる施設整備の必要が求められています。